

2019年度事業計画書

基本方針

子どもたちを取り巻く環境に目を向けると、少子化や核家族化の進行、共働き家庭の増加及び遊びの孤立化などにより、地域社会における人々の結びつきは弱くなっているなどと言われています。こうした社会変化等が見られる中で、国では、昨今の子どもを巡る福祉的課題への対応や子育て支援に対する児童館への期待等踏まえ、平成23年3月に策定した「児童館ガイドライン」を昨年10月に改正し、新たに大型児童館の機能・役割が明記されました。

2019年度は、『子どもファースト』を基本理念に掲げた「ぐんまこどもの国児童会館」の第4期指定管理期間の最終となる5年目を迎えます。この間、毎年30万人を超える多くの皆様にご利用いただいております。そして、平成2年の開館以来の延べ利用者が1000万人を突破しようとしています。これまでの4年間の総仕上げとして、いつでも誰でも気軽に利用でき、またホットできる子どもの居場所として、さらには、1000万人達成への感謝や改正児童館ガイドラインの趣旨を踏まえながら、当館の施設機能等をいかした質の高い遊びやイベントなどわくわくする空間と時間の提供や、群馬県における児童健全育成の総合センターとして地域における健全育成の環境づくりに努めます。

併せて、当館の機能の更新等これからの施設のあり方について、群馬県とともに積極的な意見交換等により検討を重ねていきます。

【数値目標】

	2019年度	2018(平成30)年度	
		目 標	見 込 み
入館者数	350,000人	370,000人	342,000人
プラネタリウム利用者数	45,000人	52,000人	42,500人
移動児童館利用者数	4,500人	4,100人	3,800人
ボランティア登録数	110人	100人	100人
団体利用件数	600団体	580団体	600団体

1 育成事業

(1) 企画事業 13,454千円

学校の長期休暇中に行う大型企画は、子どもから大人まで幅広い年齢層の方が楽しめる参加型のイベントを開催します。今年度は入館者1000万人達成が見込まれます。達成後には感謝の意を込めて、三世代で楽しめるコンサートを開催します。

新規 廃止	ゴールデンウィーク企画	14日間	「デジタルえほんで広がるせかい展」「みんなでつくろう！でかでかこいのぼり」の同時開催と児童福祉の理念の普及に努める
	夏の特別企画	41日間	「光のラビリンス展」を開催する
	こどもの国のお正月	10日間	正月にちなんだ伝承遊びや伝統行事を体験する
	春のこどもの国フェスティバル	10日間	主として体を使った遊びを提供する
	こどもわくわく劇場	10回	アマチュア劇団や地域団体、学生等の活動発表の場を提供する
	こども観劇会	1回	プロの劇団を招いて、影絵劇を開催する
	季節行事	4回	七夕、ハロウィン、クリスマス、ひなまつりを館内装飾する (金山総合公園と共催) (廃)クリスマス会
	1000万人達成記念式典及び感謝イベント	1回	1000万人達成式展及び多世代で楽しめるコンサートの開催する
	多世代交流	1回	ベーゴマ遊びを実施する

(2) サイエンスワンダーランド 4,246千円

科学展示室は、幼稚園や保育所、小学校からの団体利用のほか、幅広い子どもたちの利用の場であり、日常点検や定期的な保守点検を通じ安全第一に運営します。

講座等においては、職員による科学工作の拡充や内容の充実を図り、身近な現象から子どもたちに興味を喚起されるようなプログラムを提供します。

拡充 廃止	一般展示	通 年	常設展示
	ハイビジョンシアター プチ映画館	通 年	土日祝日、長期休暇にCS放送、DVD等を放映する
	プチサイエンスショー	随 時	身近な科学現象を題材にした実験ショーを実施する
	スペシャルサイエンスショー	2回	他施設との連携や講師を招聘した実験ショーを実施する
	科学工作	随 時	高校生による科学工作実験やロボット教室、職員による工作教室を開催する
	科学講座	4回	専門講師による体験型講座を開催する
	太田工業高校の生徒によるロボット教室	1回	ロボット製作を開催する
	がんばれ群馬のものづくり	1回	おおた夢工場の協力による幻の旅客機富嶽を展示する
	太工フェアINこどもの国児童会館	1回	ものづくり体験を通じての生徒とのふれあいを深める
	サイエンス集団利用	通 年	学校等の団体利用者に向けた科学工作・科学実験ショーを実施する
廃止	巡回展示	通 年	(公財)つくば科学万博記念事業団から巡回展示物を借用

(3) スペースシアター 13,219千円

マルチスペース化した新たな観覧スタイルとプラネタリウム機能を最大限活かせるよう、子どもから高齢者まで普段の生活の中では体験できない夢と感動を提供します。また、団体投影や一般投影については年代に合わせた番組とし、全国関係団体の会員との交流や情報交換から、幅広い年齢層が楽しみや癒やしを感じる空間を提供します。

拡充	プラネタリウム	通 年	幼児・こども・一般番組、夏休み特別番組の上映する
	プラネタリウム特別企画	随 時	コンサートやショー等をマルチスペースで観賞する
	にこっとドーム	随 時	移動プラネタリウムにて星空解説等を行う
	おやこプラネタリウム	2 回	乳幼児親子を対象とした手遊び等特別プログラムを実施する
	こどもの国スターフレンド	4 回	プラネタリウムの解説と実際の星空の観察会を開催する
	こども宇宙教室	1 回	天文・宇宙に詳しい講師による説明を受ける
	企画投影	1 回	熟睡プラネタリウムを実施する
	プラネタリウム団体投影	通 年	星空の生解説と学年にあわせた学習番組を実施する
廃止	巡回パネル展	1 回	全国科学連携協議会からパネル展示物を借用

(4) クラフトルーム 1,364千円

様々な素材を取り入れ、子どもたち自身が素材の特性や道具の使い方などを工夫する事により創造する力を広げるプログラム提供を行います。また、これまでの作品を展示した作品展及び厳選した作品集を発行します。

新規	自由利用プログラム	7プログラム	身近な素材で幅広い年齢層に対応したプログラムを提供する
	季節プログラム	7プログラム	季節行事に合わせた工作プログラムを提供する
	おたんじょうがた	12回	乳幼児の親子向け、成長記録に役立つ作品として提供する
	チャレンジクラフト	5 回	制作過程の多いプログラムを教室形式で実施する
	クラフトルーム作品展&作品集	33日間	これまでのプログラムの中から作品を絞り展示と作品集を発行する
	クラフトルーム集団利用	通 年	学校等の団体利用者に向けたプログラムを提供する

(5) プレイルーム 821千円

自由利用では就学前までの子どもがそれぞれの発達段階に応じた遊びが出来るよう遊具を配置します。また、研修室の空き室利用並びにプレイルーム前に友達同士や家族で楽しむための遊具を配置し、交流の場とします。講座事業では職員がプレイリーダーとして質の高い遊びを提供し、異年齢児の参加交流を推進します。

拡充	自由利用プログラム	プログラム	年齢に応じた遊具を提供する
	わいわい広場・だんらん広場	通 年	家族や仲間同士で楽しめるふれあいの場として開放する
	おやこサロン	10回	乳幼児向けの親子遊びや季節に応じた外遊びを実施する
	子育てママのいきいきタイム	4回	子育て中の母親に向けた育児の一助となる講座やリフレッシュできるプログラムを実施する
	パパとenjoy!	1回	体験活動を通して父子がふれあい、楽しむ場を提供する
拡充	あそぼうタイム	6回	講師やプレイリーダーと共に異年齢の子同士が集団ゲームや野外活動などを楽しむプログラムを提供する
	中高生とちびっこたちのふれあいタイム	1回	中高生が乳幼児との遊び等を学び実践する場を提供する
	プレイルーム集団利用	通 年	幼稚園等の団体利用者に向けたプログラムを提供する

(6) ビデオライブラリー 140千円

幼児から青少年に向けた優良なDVDソフトの視聴ができる自由利用の他、制作活動を通して映像の仕組みを学ぶ講座を実施します。

新規	自由利用	通 年	好きな番組を選び自由に視聴できる場を提供する
	わくわく映像教室	1回	小麦粘土等でこまどりアニメを製作する
	メイキングシネマ	1回	映像教室で制作したアニメをBGMやタイトルをつけ、映画館のような大画面で放映する

(7) パソコンルーム 855千円

年齢や興味に応じて選択できる自由利用のほか、パソコンで作成した子どもの作品をプリントし、来館記念とします。遊びを通してパソコンのマウスやキーボード操作のほか、タブレットPCを導入し、タッチ式の操作等に慣れてもらいます。

拡充	自由利用	通 年	学習ソフト、ゲームソフトの利用の場を提供する
	プリント工房	12回	パソコン上で描いた作品をプリントする

(8) こども図書室 686千円

絵本や児童書、育児書などの配架にあたり、本を通じた知育を広げるため、季節の絵本やおすすめ図書の紹介コーナー等を設け、よりよい図書環境を提供します。また、管理システムを導入し、図書管理の軽減を図ります。

自由閲覧	通 年	月刊誌、絵本、児童書、育児書等を提供する
おはなしのへや	2 回	自転車紙芝居等を開催する
絵本でEnglish!	1 回	英語絵本の読み聞かせと英語遊びを実施する
図書室集団利用	通 年	団体利用プログラムによる絵本の読み聞かせを実施する

(9) 体力増進事業 253千円

周辺の自然環境を利用した事業や、地域で活躍するスポーツ選手を招聘した事業をおこない、子どもたちの体力の底上げを図ります。

チャレンジスポーツ	通 年	多目的ホールの空き室利用で運動遊具を配置する
児童会館ダンス教室	2 回	ダンスの基礎を体験の場を提供する
とことん外であそび隊!	6 回	外遊びの場を提供する
世界にはばたけ!未来のこどもたち	3 回	スポーツ教室を開催し、スポーツへの親しみを喚起させる
ぶらり親子でさんぽ	1 回	親子を対象にこどもの国周辺を散策する
バトル! スポーツ	随 時	運動にゲーム性を加えたイベント(とことん外で遊び隊に統合)

(10) 食育体験事業 181千円

地元企業や関係機関と連携して、子どもの食生活や生活リズムの向上につながる事業を実施し、親子で楽しみながら食について理解を深めます。

毎月19日は家族でいただきますの日	随 時	食育イベントや外部講師による食育講座、稲作体験を実施する
親子でおいしい工場見学	1 回	地元工場への見学や製作体験する

(11) ふれあい仲間づくり事業 81千円

三間（時間・空間・仲間）のある遊び環境を作り、子どもたちの自主性と社会性を育みます。

カブラであそぼう	通 年	スタッフによるWSの開催、多目的ホールの空き室利用等
中高生のふれあい事業	1 回	中高生が乳幼児との遊びを学び、触れ合う場を提供する
集団利用	通 年	カブラで共同製作の楽しさを体験できる場を提供する
「家庭の日」普及活動	通 年	家族の参加を対象とした遊びやイベントの開催(各室イベントに吸収)

2 推進事業

(1) 児童館活動促進 1,473千円

県立大型児童館として地域児童館と相互連携し、子育て環境の充実や児童健全育成の推進を高め、児童館活動の活性化につなげます。

新規	群馬県児童館連絡協議会	通 年	県内児童館との連携提携を図り、児童館の情報収集・職員研修等を行う県児連を運営し、児童館活動を推進する
	児童厚生員等研修会	4回	児童厚生員、児童クラブ指導員等の資質向上を図るため、6科目 理論と実技科目の研修会を実施する
	児童館長研修会	1回	児童館長の資質向上を図るための研修会を実施する
	児童館職員交流会	1回	児童館職員で意見交換や情報等の共有を図る
	群馬県内児童館フェスティバル	1回	県内児童館が一堂に会し、遊びや活動成果を発表する
	児童健全育成講演会	1回	一般及び児童健全育成関係者を対象に有識者を招き、講演会を開催する
	児童館紹介・パネル展	通 年	県内児童館の紹介パネル・月間だよりを館内に掲示する
	遊具等貸出	随 時	県内の児童館や児童クラブ、健全育成関係団体等に遊具やDVD等を貸し出す
	児童厚生二級指導員認定事務	随 時	児童厚生二級指導員の資格認定事務を行う
	遊びの指導技術開発研修会	1回	児童厚生員等の資質向上を図るため、遊びの指導方法等について研修会を実施する（児童厚生員等研修に統合）
廃止	児童館訪問	随 時	児童館職員と意見交換を行い、地域ニーズを把握する
廃止	群馬県内児童館実態調査	1回	県内の児童館及び各市町村を対象に、設置状況・施設概要・施設運営・活動内容等について5年ごとに調査する
廃止	こどもキラキラステージ	1回	県内児童館等を利用する子どもたちによるステージ発表を行う

(2) ネットワーク作り事業 813千円

当館のプログラムの提供や県内の子育て支援団体と連携し、プレーバス巡回（移動児童館）により、地域の子育ちと子育ての支援を行います。また児童館未設置地域や来館が困難な子どもを抱える団体などへの訪問を検討します。

拡充	プレーバス巡回（移動児童館）	通 年	県内各地に巡回し、遊びのプログラム等を提供する
	児童劇団等の登録・派遣	通 年	県内の優良劇団の選定する
		6回	登録劇団等の鑑賞事業・遊びの出前を派遣する

(3) 組織化事業 835千円

施設ボランティアとの定例会議の開催や事業への協力を得ながらボランティアの自主性を育むほか、地域の子育て支援関係団体との連携を深めて、子育て支援の課題を共有し組織力の充実に努めます。また、小中高生を対象にボランティア体験を通じた社会参加活動を促進し、ジュニアスタッフを養成します。

ボランティア運営	通 年	定例会議や事業への協力、養成講座を行い、施設ボランティアの増加に努める
ボランティア活動促進	通 年	活動成果の場を提供し、「おもちゃの病院」等自主企画の促進を図る
ボランティアまつり	1 回	登録ボランティア、ジュニアスタッフ合同で、活動の発表を行う
ジュニアスタッフ養成	通 年	小・中・高校生世代を対象に、子ども達の主体性を尊重した活動を通じて、ボランティア活動の意識向上を養う
ぐんま地域活動連絡協議会連携事業	通 年	母親クラブフェスティバルや親子のつどいを共催する
地域子育て支援者講習会	1 回	地域における子育て・子育て支援技術有する人材を養成する（隔年実施）

(4) 調査研究事業 218千円

関係機関と連携し、障がいや障がい者理解につながるイベント等を行い、障がいの有無にかかわらず誰もが利用しやすい児童館作りを目指します。

障がい児応援プロジェクト	通 年	障がいの有無に関わらず利用しやすい児童館作りを検討する
	1 回	元気県ぐんまの障害者スポーツフェスタ in ぐんまこどもの国児童会館を開催する

(5) 児童文化推進事業 1,927千円

情操を育む機会や国際交流団体との連携により身近な異文化に触れる機会を提供し、子どもの創造的な文化活動の充実に努めます。

ぐんまこどもの夢大賞	募集	1 回	子どもたちの夢について絵画・童話作品を募集する（群馬県と共催）
	入選作品展	2 回	入選作品を児童会館と群馬県庁で展示する
異文化交流事業		通 年	外国文化の多様性に触れるため、図書紹介やイベントを開催する

(6) 子育て相談事業 290千円

子どもに関する育児の悩みや不安、生活習慣上の問題、子どもの発達などについて、来館または電話により相談に応じます。

子育て相談室	電話相談等	通 年	一次相談窓口として職員による来館・電話による相談を受ける
	専門員相談	1 2 回	臨床心理士や保健師による来館相談を事前予約で受ける

(7) 広報啓発事業 1,865千円

地域団体や多様な広報媒体と連携を深め、当館の魅力や事業、子育てに関する情報を発信していきます。当館マスコットキャラクターを活用し、公園と協力して「こどもの国」の魅力を発信します。

ホームページの運営	通 年	イベント情報や県内児童館情報を発信する
インフォメーションの発行	通 年	紙媒体でイベント情報を発信する
「にこっと通信」発行	4 回	機関誌として子育て情報を発信する
出張！にこっとちゃん	1 回	乳児院や児童養護施設等に出向く
にこっとちゃんに年賀状をおくろう	1 回	作品の応募及び作品展の開催
誘客キャンペーン	2 回	着ぐるみを活用した金山総合公園との共催キャンペーン等を実施する
プロモーション映像作成	随 時	児童会館活動の映像作成を委託する
ぐんまちゃん、にこっとちゃんと写真を撮ろう	2 回	着ぐるみとの写真撮影会を実施する(金山総合公園と共催)
事業年報の発行	1 回	年間実績報告書を作成し、関係機関へ送付する

(8) 地域又は関係機関との連携事業 33千円

地域と一体となり、子育て支援団体と連携して子育て支援や育児相談、子育て情報の場を遊びを通して提供します。また、活気ある地域づくりに貢献できるよう、地域で開催する事業に参加し、地元との交流を深めます。

マザー&チャイルド	12 回	太田保健福祉事務所が主催する障害受容に向けて、親子を支援する集団療育に協力する
子育てサロン・こどもの国	9 回	太田子育て支援ネットワークが行う親子遊びや簡易育児相談等コミュニケーションの場を提供する
アースディ	1 回	地球環境イベント「アースディin桐生」に参加する
おおた・まちの先生見本市	1 回	おおた・まちの先生見本市実行推進協議会が行う事業に出展する

3 その他の事業

貸出事業

県条例に基づき、多目的ホール及び研修室の貸出しを行います。

4 管理運営

(1) 法令等遵守

県各種法令を遵守するとともに事業団の各種規程等に則り、県民に対して説明責任を果たします。また、業務遂行上改正を要する内部要領等は指導機関等の助言を受け、適宜見直しを行います。

(2) 施設設備維持管理

来館者が安心して気持ちよく利用できるよう、設備の保守管理はもとより日々の施設内点検・清掃等を通じ、安全性を優先した管理に努めます。

修繕等が生じた際は、利用者の負担を最小限とすべく迅速な処置に努めるほか、群馬県と協議を図りながら計画的な設備の更新を図ります。

(3) 人材育成

職員の資質向上にあたっては、職務に必要な専門知識にとどまらず、事業団職員として必要な識見の涵養のため、職場内研修をはじめ外部団体等が実施する研修会へ参加するほか、他の職員との共有に努めます。